



研究部会報告

●最適化とその応用●

●第12回

日時：10月24日(土) 14:00~17:00

場所：九州大学経済学部4階408号

テーマと講師：(1)「ファジィ集合と意思決定」石川真昭(九州芸工大)

ファジィ数理計画およびファジィ選好関係下での意思決定問題を具体的にわかりやすく解説した。

(2)「私的情報と組織有効性」細江守紀(九大・経済)

個人—企業、完全情報—非対称情報の問題を考慮して、インセンティブ・コンパティブルな企業組織の形成とその有効性を数理計画法を用いて分析した。

●第13回

日時：11月21日(土) 14:00~17:00 場所：同上

テーマと講師：(1)「不確実性を含む枯渇性資源最適モデル」時政 昂(佐大・経済)

技術開発と採掘率を含む動学的資源消費の問題を最適制御理論を用いて静学分析を行なった。

(2)「経済計算エキスパートシステムの構成」時永祥三(九大・経済)

管理会計分野での経済計算エキスパートシステムの基本構成を試み、いくつかの実験例を提示した。

●第14回

日時：12月19日(土) 14:00~17:00 場所：同上

テーマと講師：(1)「The multi-armed Bandit problem with stopping」吉田祐治(九大・理)

d 個の独立な腕をもつ bandit problem に対してスイッチ切り替えと停止時刻の対の最適なもの、ベルマン方程式と最適停止理論を援用して、構成した。

(2)「地域計量モデルの推定、シミュレーション」佐伯親良(九大・経済)

最近の経済構造転換を考慮した九州経済マクロモデルの構成を大規模線形モデルによって試みた。

●交通・流通システム●

●第8回

日時：12月17日(木) 18:00~21:00

場所：東洋経済新報社会議室(日本橋) 出席者：9名

テーマ：①フリーターキング(交通・流通をめぐって)

②懇親会

今年度の研究部会を4月の第1回目から、11月の第7回までをふりかえり、さらに翌63年の6月頃までのテーマについて計画検討した。その後は、懇親会(忘年会)になり、大いに話しの花が咲いて、交通・流通の実態から、はては新美容術事情に至るまでの幅広い会話がとりかわされた。

●DP●

日時：1月8日(金)~9日(土)

場所：八王子大学セミナーハウス 出席者：10名

シンポジウムを行なった。発表10件。

●日本のシステム科学●

●第33回

日時：12月5日(土) 14:00~17:00 出席者：7名

場所：八丁堀 東京都勤労福祉会館

テーマと講師：「経営管理の基本についての一考察」村沢与四郎(中南電機産業社長)

講師の故郷である信州松代藩の家老恩田木工(1717~1762)と現住地である相模の二宮尊徳(1787~1856)の2人の現状分析に徹した政治・経営のオペレーションズ・リサーチを比べながら、その日本的なシステム科学を分析解明して下さった。二宮尊徳は恩田木工の事蹟を参考にしながら、さらに彼独特の実践を行なっている。

●第34回

日時：1月9日(土) 14:00~17:00 出席者：9名

場所：同上

テーマと講師：「経営と情報システム」佐藤永充(M&M戦略研究所理事長)

企業を取巻く経営環境は常に変化を続けております。したがって経営は迅速かつ適確な情報システムの整備なしには所期の目的を達成できないばかりか、危険に瀕するおそれがあります。そこで発表者は、経営のシステム分析をしながら、それに対応する有効な情報システムの構築を提示されました。